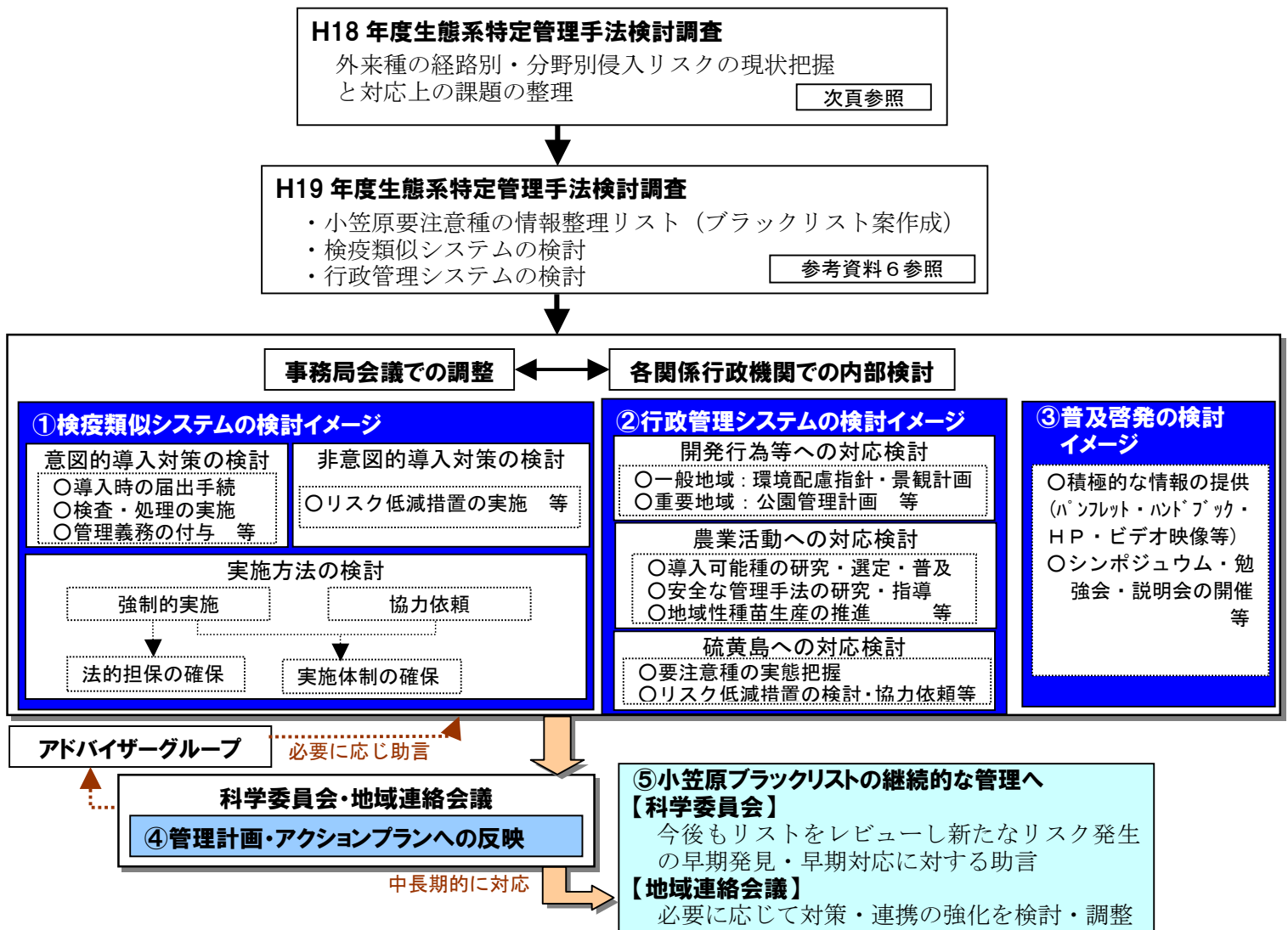


新たな外来種の侵入予防措置に係る検討の進め方

1. 検討の趣旨と背景

- 「新たな外来種の侵入予防措置」については、小笠原諸島の世界遺産登録に向けた管理計画の作成における重要検討項目の一つとして位置づけられており、具体的な管理の方策（現状と課題、達成目標、対応方針）を管理計画に記載する必要がある。
- また、「島毎の生態系保全」と共にアクションプランも作成し、当面3年程度を目安とした具体的な事業の実施方法（事業の具体的な内容、実施主体、実施スケジュール）を明確にする必要がある。
- 昨年度までは環境省が「生態系特定管理手法検討調査」を実施し、新たな外来種の侵入に関して、現状における経路別・分野別リスクと対応上の課題を整理するとともに、小笠原要注意リスト（ブラックリスト案）の作成、検疫類似システムの検討、行政管理システムの検討を行ってきた。
- 今後は、上記の調査成果を踏まえて、事務局内で具体的な取組の実施方針について早急に検討を進め、その結果を科学委員会・地域連絡会議で検討する管理計画やアクションプランに反映させていく必要がある。

2. 検討の進め方・成果の活用



■小笠原諸島における外来生物侵入リスクの概要

区間	ターゲットとなる外来種	関連分野	外来種侵入のリスク
① 内地 → 父島・母島	・ほぼ全ての生物種	観光	・観光客またはその手荷物に付着又は混入（非意図的導入）
		島民生活	・島民又はその手荷物に付着又は混入（非意図的導入）
			・島民が園芸目的で取り寄せる苗木等の生物資材等（意図的導入）
		農業	・苗木又は土壌等農業資材、島民が内地より取り寄せる生活物資等に付着又は混入（非意図的導入）
			・農業又は緑化等の目的で取り寄せる苗木等の生物資材等（意図的導入）
		行政事業	・苗木又は土壌等農業資材、内地より取り寄せる生活物資等に付着又は混入（非意図的導入）
自衛隊	・土木・建設事業等の公共事業のための機材又は資材に付着（非意図的導入）		
② 父島 → 母島	・ニューギニアヤガクサ等	観光、島民生活	・観光客又は島民の移動に伴うニューギニアヤガクサ等母島未侵入外来種の導入（非意図的導入）
③ 硫黄島 → 父島・母島	・アカカミアリ、ハリビユ等、硫黄島にいて父島・母島にいない生物種	行政事業	・墓参又は遺骨収集等の村による事業の参加者又はその荷物に付着又は混入（非意図的導入）
		自衛隊	・墓参又は遺骨収集参加者によるお土産用の果樹等の持ち出し（意図的導入）
④ 父島・母島 → 属島又は聟島	・グリーンアノール、ニューギニアヤガクサ等	行政事業	・記念公園管理の受託業者による、資材・機材に付着又は混入（非意図的導入）又はお土産用の果樹等の持ち出し（意図的導入）
		調査研究・観光	・訓練等の業務、急患輸送や記念公園管理のための航空機又はヘリコプターの機体に付着又は侵入（非意図的導入）
			・硫黄島より来島する人又は荷物に付着又は混入（非意図的導入）
			・属島における土木事業又は調査等の行政事業のための人や資材に付着又は混入（非意図的導入）
			・人や資材に付着又は混入（非意図的導入）

（平成 18 年度調査結果より作成）

網掛は検疫類似システム構築による対応に関して検討が必要な分野。その他の分野は行政間の管理システム構築による対応が必要な分野。